



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日

上場会社名 新潟交通株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9017 URL <http://www.niigata-kotsu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 丈二
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員総務部長（氏名） 今城 哲 TEL (025)246-6335
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績〔累計〕

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期 第3四半期	15,689	1.9	1,132	26.4	460	151.5	184	—
25年3月期 第3四半期	15,393	△0.8	895	0.7	183	9.8	△436	—

（注）包括利益 26年3月期第3四半期 194百万円（－％） 25年3月期第3四半期 △444百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期 第3四半期	4.79	—
25年3月期 第3四半期	△11.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期 第3四半期	58,656	10,930	18.6	284.33
25年3月期	59,136	10,736	18.2	279.26

（参考）自己資本 26年3月期 第3四半期 10,930百万円 25年3月期 10,736百万円

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年 3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年 3月期	—	0.00	—	—	—
26年 3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	0.9	1,650	△1.6	750	3.4	500	280.5	13.01

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	38,640,000株	25年3月期	38,640,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	196,629株	25年3月期	194,373株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	38,444,002株	25年3月期3Q	38,446,670株
----------	-------------	----------	-------------

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による積極的な経済対策や金融緩和等を背景として、景気は緩やかに回復しつつある状況となっております。景気の先行きについても、輸出の持ち直しや各種政策の効果が現れるなかで、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される一方で、円安によるエネルギー・原材料の価格上昇や海外景気の下振れ懸念等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

こうした事業環境の中、当社グループでは中期経営計画の目標を達成すべく積極的に事業を展開した結果、当第3四半期連結累計期間の総売上高は15,689百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は1,132百万円（同26.4%増）、経常利益は460百万円（同151.5%増）の計上となりましたが、路線バスでのバスカード利用終了に伴うバスカード払戻額125百万円を特別損失に計上したことにより四半期純利益は184百万円（前年は四半期純損失436百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

○運輸事業

乗合バス部門では、冬季増便（平成25年12月16日～平成26年3月14日）の実施やICカード乗車券「りゅーと」に限定したワンコインバス（運賃100円、新潟駅～古町の区間、平成25年10月5日～平成26年2月9日の土日祝日限定）の運行等、お客様の利便性向上に努めた結果、運賃収入は前年同期比増収となりました。

高速バス部門では、県外線において、大宮・新宿線の新設（平成25年8月～）や運賃設定方法の変更（運行日や運行時間により運賃を個別設定 平成25年8月～）により需要の喚起に努めましたが、一方で県内線において、開業35周年謝恩キャンペーン（平成25年10月～平成25年12月）を実施する等、積極的な営業活動に努めたものの利用者減少に歯止めがかからず大幅な減収となりました。この結果、運賃収入は前年同期比減収となりました。

貸切バス部門では、お客さまの「安心・安全」に対するニーズの高まりを受け平成25年4月に観光バスを7台新車投入した他、観光バス受注センターへの情報一元化による受注強化を図ったことにより、貸切バス収入は前年同期比増収となりました。

この結果、運輸事業の売上高は7,430百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

○不動産事業

不動産事業では、「万代シテイ」が平成25年11月に40周年を迎えたこともあり積極的にイベント展開を行いました。平成25年10月「万代グルメストリート」、平成25年11月「万代ロマンチックサーカス2013」、平成25年12月「キャンドルナイトプロジェクト」等、万代シテイ商工連合会商店街振興組合と連携して、ほぼ毎週末イベントを実施したほか、平成25年11月2日に大型商業施設「ラブラ2」が万代シテイにオープンしたことで来街客が増加し、賃料収入・駐車場収入の増加に繋がりました。

この結果、不動産事業の売上高は2,316百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

○商品販売事業

商品販売事業では、基幹の観光土産品卸売部門が概ね順調に推移した他、平成25年7月にリニューアルオープンした「新潟市水族館マリニピア日本海」の館内ショップの売上が好調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。

コンビニエンス部門においては、近隣に競合店がオープンする中、積極的な商品展開と種々のキャンペーン実施により、売上は前年同期並みを確保しました。

この結果、商品販売事業の売上高は1,931百万円（同1.4%増）となりました。

○旅館事業

佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」では、ネット販売を強化した結果、宿泊収入は前年を上回り、前年同期比増収となりました。

新潟市内の「万代シルバーホテル」では、積極的な営業による宴会受注の増加と「ラブラ2」がオープンしたことにより来街客が増加し、館外飲食店売上が順調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。

この結果、旅館事業の売上高は1,655百万円（同2.9%増）となりました。

○その他事業

旅行業では、過去最高受注となった修学旅行を中心に教育旅行が計画以上に推移した他、25周年を迎えた「くれよん」では、魅力ある旅行商品を企画し販売強化に努めた結果、国内旅行では前年を上回る収入を得ることができました。しかしながら、海外旅行での中国・韓国への旅行需要の減少も影響し、旅行業全体では前年同期比減収となりました。

広告代理業では、行政、観光協会及び県内外の交通広告代理店への積極的な営業活動を展開した他、「ラブラ2」がオープンした事に伴う広告受注増加もあり、前年同期比増収となりました。

航空代理業では一部国内線における大型機材の運航やチャーター便運航に伴う空港受託業務手数料増により、前年同期比増収となりました。

清掃・設備・環境業においても、「ラブラ2」における清掃関連受注の増加やリサイクル部門における古紙やペットボトルの価格上昇等もあり、清掃・環境部門においては、前年同期比増収となりました。

この結果、その他事業全体の売上高は2,355百万円（同2.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、減価償却による固定資産の減少などにより、前期末に比べ480百万円減少し、58,656百万円となりました。

負債は、借入金の返済による減少などにより、前期末に比べ674百万円減少し、47,725百万円となりました。

また、純資産は、四半期純利益184百万円計上したことなどにより、前期末に比べ194百万円増加し、10,930百万円となり、自己資本比率は18.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期期連結累計期間の業績が想定した範囲内で推移しております。従って、本年5月15日に公表いたしました見直しを変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前年度の検討において使用した将来の業績予想や、タックスプランニングを使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,571,279	2,461,466
受取手形及び売掛金	1,030,366	1,193,125
商品及び製品	160,910	245,256
原材料及び貯蔵品	121,900	124,080
その他	846,711	576,361
貸倒引当金	△12,343	△6,881
流動資産合計	4,718,825	4,593,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,762,403	12,291,863
土地	37,911,657	37,912,053
その他(純額)	2,352,930	2,470,557
有形固定資産合計	53,026,990	52,674,473
無形固定資産	289,628	277,650
投資その他の資産	1,100,784	1,110,487
固定資産合計	54,417,404	54,062,611
資産合計	59,136,229	58,656,021
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	851,900	1,169,723
短期借入金	19,220,706	18,132,714
未払法人税等	61,034	55,699
賞与引当金	130,506	84,802
その他	2,857,510	3,190,386
流動負債合計	23,121,657	22,633,325
固定負債		
社債	260,000	160,000
長期借入金	16,598,882	16,272,559
再評価に係る繰延税金負債	4,964,499	4,964,499
退職給付引当金	334,283	327,600
役員退職慰労引当金	235,374	214,096
その他	2,885,044	3,153,250
固定負債合計	25,278,083	25,092,005
負債合計	48,399,740	47,725,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220,800	4,220,800
資本剰余金	2,946,550	2,946,550
利益剰余金	△4,290,963	△4,106,884
自己株式	△32,957	△33,385
株主資本合計	2,843,429	3,027,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,617	△9,772
繰延ヘッジ損益	—	5,705
土地再評価差額金	7,907,676	7,907,676
その他の包括利益累計額合計	7,893,058	7,903,609
純資産合計	10,736,488	10,930,690
負債純資産合計	59,136,229	58,656,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	15,393,928	15,689,951
売上原価	11,205,322	11,196,585
売上総利益	4,188,606	4,493,366
販売費及び一般管理費	3,292,807	3,361,011
営業利益	895,798	1,132,355
営業外収益		
受取利息	1,397	1,159
受取配当金	7,084	6,428
持分法による投資利益	8,593	8,583
雇用調整助成金	8,239	—
その他	20,483	22,023
営業外収益合計	45,798	38,195
営業外費用		
支払利息	751,828	700,512
その他	6,558	9,304
営業外費用合計	758,387	709,816
経常利益	183,209	460,733
特別利益		
固定資産売却益	2,137	1,748
投資有価証券売却益	—	2,739
補助金収入	22,307	22,849
株式割当益	4,208	—
その他	102	2,888
特別利益合計	28,755	30,225
特別損失		
固定資産売却損	514,763	1,257
固定資産除却損	33,812	19,321
バスカード払戻金	—	125,638
テナント退去補償金	—	22,847
工事負担金	—	39,000
その他	—	207
特別損失合計	548,575	208,272
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△336,610	282,686
法人税、住民税及び事業税	42,451	66,905
法人税等調整額	57,266	31,701
法人税等合計	99,718	98,606
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△436,328	184,079
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△436,328	184,079

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△436,328	184,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,182	4,845
繰延ヘッジ損益	—	5,705
その他の包括利益合計	△8,182	10,550
四半期包括利益	△444,511	194,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△444,511	194,629
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品 販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,322	2,254	1,904	1,608	13,090	2,303	15,393	—	15,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126	367	48	23	564	507	1,072	△1,072	—
計	7,448	2,622	1,952	1,631	13,655	2,811	16,466	△1,072	15,393
セグメント利益又は 損失(△)	△612	1,067	115	64	634	258	893	1	895

- (注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品 販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,430	2,316	1,931	1,655	13,334	2,355	15,689	—	15,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	128	372	44	23	568	524	1,093	△1,093	—
計	7,558	2,689	1,975	1,679	13,903	2,879	16,783	△1,093	15,689
セグメント利益又は 損失(△)	△453	1,151	110	78	885	245	1,131	0	1,132

- (注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。